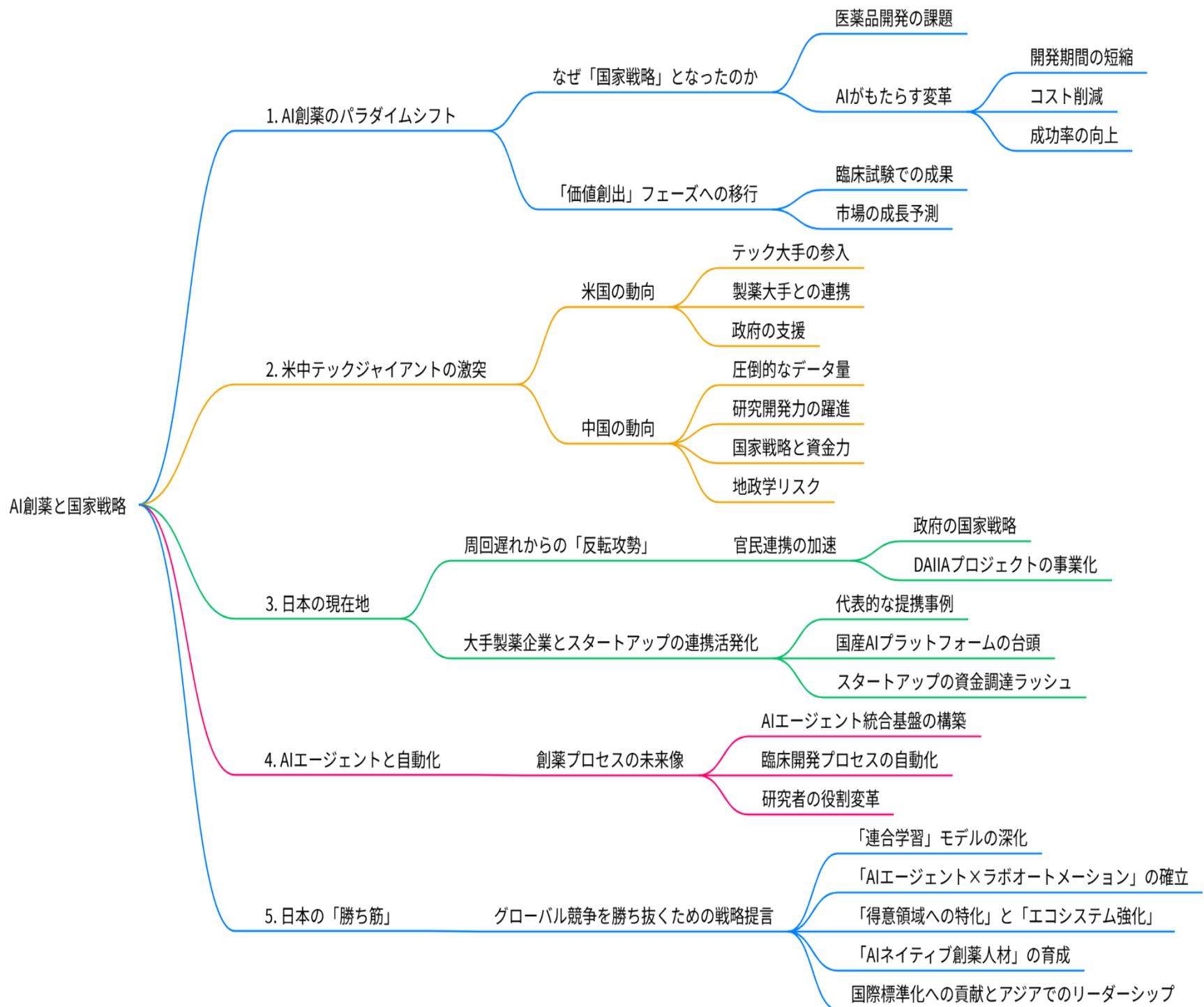


AI創薬が“国家戦略”一米中テック大手が製薬に殺到、日本が取るべき「勝ち筋」について

Felo AI



Overview

2025年現在、人工知能（AI）を活用した創薬は、単なる技術革新の域を超え、米中をはじめとする主要国での技術覇権を左右する「国家戦略」の主戦場へと変貌を遂げている[3, 20, 61]。従来の創薬が抱える莫大な時間・コスト・低い成功確率という構造的課題を根本から覆す可能性を秘めるAI創薬は、「概念実証」の段階を終え、実際に医薬品候補を生み出す「価値創出」フェーズに突入した[3, 35]。この変革期において、米国はNVIDIAやGoogle傘下のIsomorphic Labsといったテックジャイアントが主導し、中国は豊富なデータと国家主導の強力な支援体制を武器に猛追している[1, 13, 20, 61]。

一方、日本は米欧に一時周回遅れと評されたものの、2024年から2025年にかけて官民一体となった「反転攻勢」を開始している[16, 25, 62, 92, 122]。政府の「創薬力向上構想」の下、AMEDが主導する産学連携プロジェクト「DAIIA」では、製薬16社のデータを連合学習させる世界初のAI創薬プラットフォームが事業化された[7, 8, 93, 94]。また、第一三共や中外製薬などの大手製薬企業は、AWSやソフトバンクといったテクノロジー企業と組み、創薬プロセス全体を自動化・自律化する「AIエージェント」統合基盤の構築に着手している[9, 14, 24, 58, 99]。

日本の「勝ち筋」は、この「連合学習」モデルの深化、次世代の「AIエージェント×ラボオートメーション」基盤の構築、そしてタンパク質工学や化合物設計など世界で戦える独自技術を持つスタートアップエコシステムの強化にある。高品質なデータを国内に保持しつつ共同でAIモデルを強化するアプローチは、データ主権と経済安全保障の観点からも大きな優位性を持つ。今後は、AIを使いこなす次世代人材の育成と、国際的なルール形成への積極的関与を通じて、グローバルなAI創薬競争における独自の地位を確立することが極めて重要となる。

詳細レポート

1. AI創薬のパラダイムシフト：なぜ「国家戦略」となったのか

医薬品開発は、1つの新薬を市場に送り出すまでに10年以上の歳月と1000億円を超える莫大な費用を要する一方、成功確率は2万分の1以下とも言われる極めてリスクの高い事業である[2, 3, 26]。この「時間・コスト・成功率」という長年の課題に対し、AIは革命的な解決策を提示している[2, 3, 26]。

AIがもたらす変革

AI創薬は、主に以下の点で従来のプロセスを根本から覆す[26, 34, 72, 133]。

- **開発期間の短縮:** 膨大な論文や実験データをAIが解析し、有望な創薬ターゲットや化合物候補を数日で特定する。従来10年以上かかっていた期間を3~5年に短縮する可能性が示されている²⁶。
- **コスト削減:** 開発初期段階での失敗リスクが高い候補を早期に除外することで、無駄な投資を抑制する。開発コスト

トを30~50%削減できるとの試算もある[26, 34]。

- 成功率の向上: AIが高精度に薬効や毒性を予測することで、臨床試験での成功確率を高める[3, 26]。



「価値創出」フェーズへの移行

2025年現在、AI創薬は単なる研究開発テーマではなく、実際に臨床試験で成果を出す「価値創出」の段階に入っている[3, 35]。例えば、中国のAI創薬企業 Insilico Medicine が開発した医薬品候補は、第II相臨床試験で良好な結果を示した[3, 35]。これにより、AI創薬は「投資すれば新薬が誕生し、収益化が見える」フェーズへと転換し、テック大手や投資マネーが殺到する主戦場となっている③。世界のAI創薬市場は年率30%近い高い成長率で拡大し、2030年代には数兆円規模に達すると予測されている[26, 46, 82, 91]。

2. 米中テックジャイアントの激突：AI創薬の最前線

AI創薬の覇権を巡り、米国と中国の競争が激化している。両国は国家戦略としてこの分野に注力し、巨大テック企業がその中核を担っている[3, 20, 61]。

米国の動向：プラットフォームとエコシステムで主導

米国は、強力なテック企業とスタートアップエコシステムを武器に、AI創薬のプラットフォーム構築をリードしている。

- **テック大手の参入:** NVIDIA は、創薬向け AI プラットフォームを開発し、わずか 1 年で 8 社以上の AI 創薬企業に投資するなど、エコシステムの形成を加速している[20, 61]。Google からスピンアウトした Isomorphic Labs は、シリーズ A で 6 億ドルという記録的な資金調達を達成し、AI による生命科学の根源的理験を目指している[1, 91]。
- **製薬大手との連携:** Eli Lilly は、10 億ドル相当の自社データを学習させた AI ファクトリー「Lilly TuneLab」を構築し、外部のバイオテック企業に提供するモデルを開始した[31, 75]。大手製薬企業が自社のデータと AI 技術を核に、業界全体のプラットフォーマーとなる動きが加速している。
- **政府の支援:** 米国政府は、FDA（食品医薬品局）における AI 活用を推進し、医薬品の審査プロセスを迅速化・効率化する方針を示している 19。また、BIO2025 などの国際会議では、AI が創薬の前提であり、「科学者の役割さえ変え始めている」との認識が共有されている[19, 60, 106]。

中国の動向：国家主導のデータ駆動型戦略

中国は、「中国製造 2025」でバイオ医薬品を重点分野に指定し、国家主導で AI 創薬大国への道を突き進んでいる[56, 88]。

- **圧倒的なデータ量:** 14 億人を超える人口から得られる膨大な医療データは、AI モデルの学習において他国を圧倒する強みとなっている[13, 73]。モバイル決済の普及なども、多様なデータ収集を後押ししている 13。
- **研究開発力の躍進:** AI 関連の論文数や引用数シェアにおいて、中国はすでに米国を凌駕、あるいは肉薄しており、研究の「量」だけでなく「質」でもトップレベルに到達している[13, 73]。がん領域の新薬開発（治験数）では 2 年連続で世界首位となった[23, 45]。
- **国家戦略と資金力:** 政府の強力な後押しを受け、AI 創薬企業は 100 社を超え、投資が再燃している 3。市場規模は 2028 年にかけて約 5 倍に急拡大する見通しだ[3, 46]。Insilico Medicine や XTalPi といったスタートアップは、海外大手製薬との大型契約を次々と締結している[3, 41, 66, 84]。
- **地政学リスク:** 一方で、米中間の技術摩擦は AI 創薬分野にも及んでおり、米国による規制の動きは、国際的な共同研究や事業提携における新たな紛争の火種となる可能性を秘めている 3。

指標	中国	アメリカ
AI 論文出版数シェア	約 25.2%	約 14.7%
AI 論文引用数シェア	約 26.6%	約 28.8%
トップ 10% 論文引用数シェア	約 36.2%	約 35.9%

指標	中国	アメリカ
ア		
(出典 : <i>Stanford University</i> “AI Index Report 2024” 等の データを基に作成 13)		

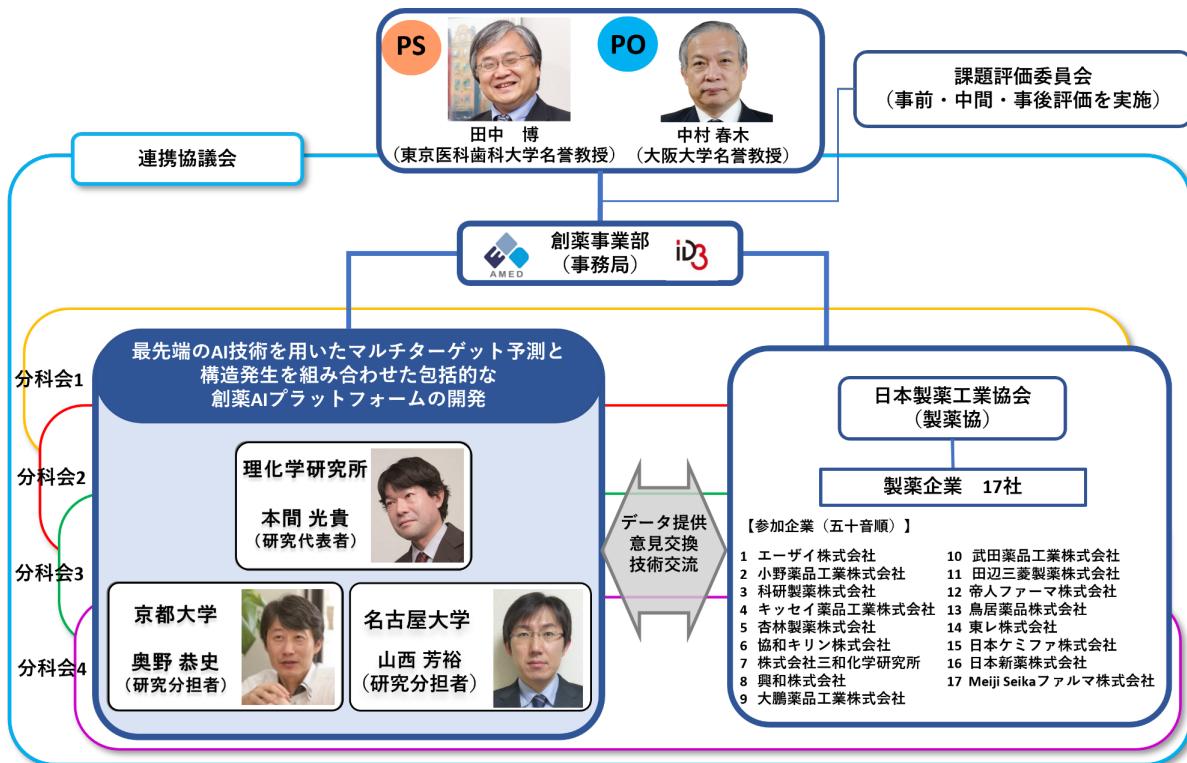
3. 日本の現在地：周回遅れからの「反転攻勢」

かつて米欧から周回遅れと指摘された日本の AI 創薬だが、2024 年から 2025 年にかけて官民を挙げた「反転攻勢」が本格化している[16, 25, 62, 92, 122]。創薬力の強化は、医薬品の輸入超過が続く日本にとって喫緊の国家課題と位置づけられている[32, 71]。

官民連携の加速：DAlIA プロジェクトと連合学習

日本の反撃の核となるのが、産学官の強固な連携である。

- **政府の国家戦略:** 政府は「創薬力向上のための官民協議会」を設置し、「新しい資本主義のグランドデザイン」の中で創薬 AI プラットフォームの構築を明記した[32, 71, 91, 119]。これは、AI 創薬を国家レベルの重要課題として取り組む明確な意思表示である。
- **DAlIA プロジェクトの事業化:** 2020 年度から 5 年間、AMED（日本医療研究開発機構）が主導した「産学連携による次世代創薬 AI 開発（DAlIA）」プロジェクトが大きな成果を上げた[8, 59, 94, 103]。製薬企業 17 社が参加し、各社が保有する秘匿性の高いデータを社外に持ち出すことなく AI モデルを共同で学習させる「連合学習」の仕組みを構築[8, 94]。2025 年 7 月、この成果は Elix と LINC によって世界で初めて事業化され、参加企業が利用できる AI 創薬プラットフォームとして提供が開始された[7, 53, 80, 93, 111]。これは、日本の AI 創薬における画期的なマイルストーンである。



大手製薬企業とスタートアップの連携活発化

社内に AI 人材が不足しているという課題 1 に対し、日本の大手製薬企業は外部の AI 技術を積極的に取り込むオープンイノベーションを加速させている[1, 47, 91, 95]。

- **代表的な提携事例:** 中外製薬と Preferred Networks (PFN) 、第一三共とエクサウェイザーズの連携などが早くから成果を上げている[1, 91]。
- **国産 AI プラットフォームの台頭:** FRONTEO は自社開発の AI 「KIBIT」を核とした「Drug Discovery AI Factory」を展開し、第一三共、中外製薬、エーザイなど多数の国内製薬企業との共創プロジェクトを進めている[28, 44, 79, 85, 104, 115]。
- **スタートアップの資金調達ラッシュ:** 2024 年から 2025 年にかけて、独自の AI 技術を持つ国内スタートアップの大型資金調達が相次いだ[4, 48, 96]。東北大学発の RevolKa (AI タンパク質工学) や、iSiP (AI 創薬 3.0 プラットフォーム) などが、AMED 認定 VC などから数億円規模の資金を調達し、研究開発を加速させている 4。

国内製薬企業	スタートアップ	提携内容
中外製薬	Preferred Networks	PFNのDeepLearning技術をAI創薬全般に応用する包括的パートナーシップ契約
中外製薬	FRONTEO	FRONTEOの創薬支援サービスを活用し、標的分子の早期発見を共創
第一三共	エクサヴィザーズ	AI技術と構造ベース創薬を組み合わせ、ヒット化合物を短期で同定
エーザイ(EAファーマ)	FRONTEO	FRONTEOの創薬支援サービスを活用し、標的分子の早期発見を共創
エーザイ	Elix	エーザイへAI創薬プラットフォームを提供
協和キリン	InveniAI	共同研究で新たな標的分子を発見
塩野義	Elix	実用的な逆合成解析に向けた共同研究
塩野義	InveniAI	マルチターゲットに対する創薬探索で提携
大塚製薬	Schrödinger	CNS領域におけるリード化合物の最適化
大塚製薬	ShapeTX	AIとRNA技術を組み合わせた独自のAAVidプラットフォームで、ベクター化抗体医薬の開発
大鵬薬品	SyntheticGestalt	分子特化型基盤AIモデル「SG4D10B」で創薬の効率化と適用範囲の拡大
小野薬品	MOLCURE	抗体医薬のマルチターゲット抗体の創製
小野薬品	Jorna Therapeutics	RNA編集技術を用いた創薬に関する研究提携
小野薬品	InveniAI	新規治療標的の探索に関する研究契約

4. AI エージェントと自動化：創薬プロセスの未来像

2025年以降のAI創薬は、単なる予測ツールを超え、創薬プロセス全体を自律的に実行する「AIエージェント」の時代へと向かっている[9, 55]。

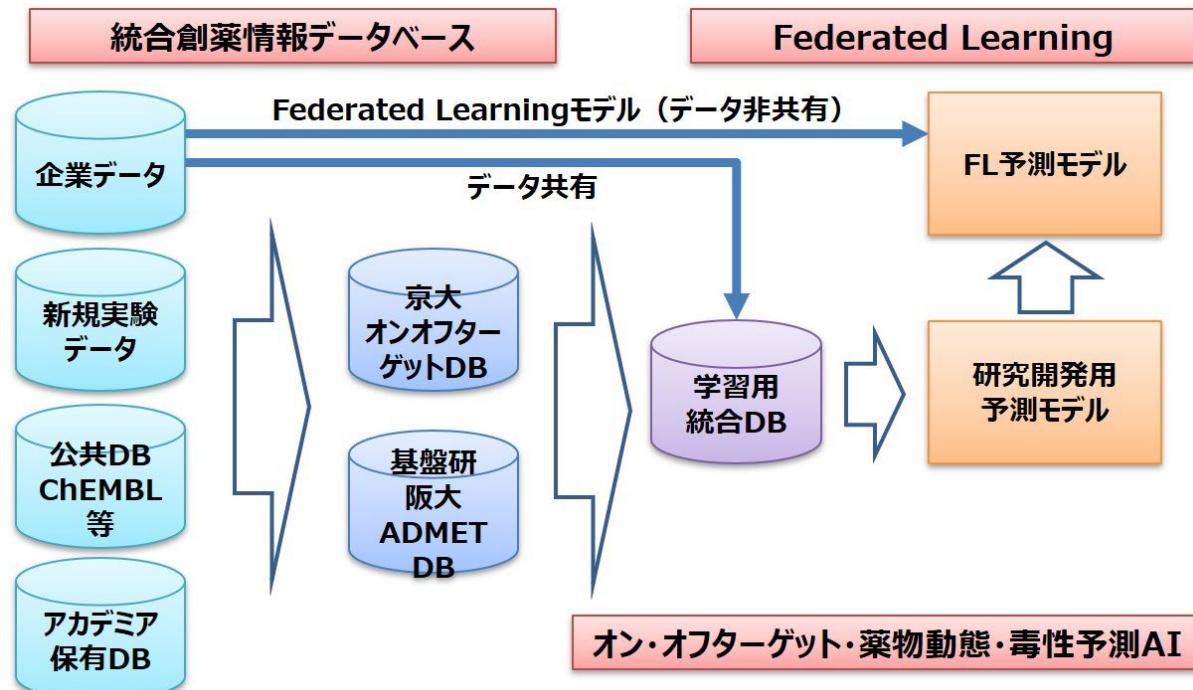
- **AIエージェント統合基盤の構築:** 第一三共はAWSと連携し、AIエージェントシステムを統合した次世代創薬研究基盤の構築を開始し、2026年の運用開始を目指している[14, 58, 99]。これは、実験計画の立案（Design）、化合物の合成（Make）、実験・評価（Test）、データ分析（Analyze）から成るDMTAサイクルを、AIと実験自動化技術の融合によって劇的に加速させる試みである [14](#)。
- **臨床開発プロセスの自動化:** 中外製薬、ソフトバンク、SB Intuitionsの3社は、製薬産業に特化した大規模言語モデル（LLM）とAIエージェントを共同開発し、最も時間とコストがかかる臨床開発業務の革新を目指すことで合意した[9, 24, 50, 68, 100, 102]。これにより、新薬開発のリードタイムが劇的に短縮されると期待されている [9](#)。
- **研究者の役割変革:** AIエージェントとラボオートメーションが連携すれば、研究者が立てた仮説をロボットが夜間に実験し、翌朝には結果が出ているといった世界が現実になる [5](#)。研究者の役割は、AIと対話し、その提案を評価・検証する「AIコラボレーター」へと進化していく[5, 11]。

5. 日本の「勝ち筋」：グローバル競争を勝ち抜くための戦略提言

米中の巨大資本と国家戦略が激突する中、日本が独自の地位を築き、グローバル競争を勝ち抜くためには、以下の戦略が

不可欠である。

1. 「連合学習」モデルの深化とグローバル展開 DAIIA で実現した「世界初」の連合学習プラットフォーム事業化[7, 93]は、日本の最大の強みである。このモデルは、データの秘匿性と AI の共同開発を両立させるものであり、データ主権や経済安全保障への関心が高まる国際社会において、デファクトスタンダードとなりうるポテンシャルを秘めている。今後は参加企業をさらに拡大し、データとモデル精度が向上する好循環を創出するとともに[7, 93]、このモデルをアジアや欧洲へ展開し、日本主導の国際的な創薬データ連携基盤を構築すべきである。



2. 「AI エージェント×ラボオートメーション」による次世代創薬基盤の確立 第一三共や中外製薬が着手した AI エージェントと実験自動化を統合する取り組み[14, 24]は、創薬の生産性を飛躍的に向上させる次世代のゲームチェンジャーである。この動きを個別企業の取り組みに留めず、国家プロジェクトとして支援し、中小のバイオベンチャーやアカデミアも利用可能な共通基盤として整備することが重要だ。これにより、日本の創薬エコシステム全体の研究開発速度を底上げできる。

3. 「得意領域への特化」と「エコシステム強化」 日本には、タンパク質工学 (RevolKa⁴)、化合物設計 (iSiP⁴)、自然言語処理による標的探索 (FRONTEO²⁸) など、世界に通用する独自技術を持つスタートアップが存在する。これらの「尖った技術」を持つ企業を AMED や LINK-J などを通じて集中的に支援し、成功事例を創出することが不可欠である [27, 33, 77, 81, 112]。また、アカデミアの優れた研究シーズを円滑に事業化へと繋ぐ「ハブ」機能の強化も急務となる⁹。

4. 「AIネイティブ創薬人材」の戦略的育成 今後の創薬研究者には、生命科学の専門知識に加え、AIを批判的に吟味し使いこなす「データリテラシー」が必須となる[11, 67, 98]。薬学教育のカリキュラムにデータサイエンスやAI倫理を体系的に組み込むとともに[9, 11]、AIの可能性をビジネスに繋げる「ビジネス翻訳者」的な人材の育成が、日本の競争力を左右する²⁵。

5. 国際標準化への貢献とアジアでのリーダーシップ AIが生成した医薬品の評価・承認プロセスなど、新たな規制やガイドラインの策定が国際的に進むと予想される¹²¹。日本は、GMLP (Good Machine Learning Practice) のような国際的なルール作りに積極的に関与し、自国の「連合学習」モデルなどの強みが活かせるルール形成を主導すべきである。また、地理的・文化的に近いアジア市場において、日本の高品質なデータとAIプラットフォームを基盤としたリーダーシップを発揮することも、有効な戦略となる¹⁷。

1. [AI創薬領域の日本・グローバル市場の動向 | VISIONEO LAB](#)
2. [2025年8月 AI創薬の最前線：がん・希少疾患で加速する開発と ...](#)
3. [AI創薬が“国家戦略”一一米中テック大手が製薬に殺到](#)
4. [2025年、創薬AIが爆発する—資金調達ラッシュの深層](#)
5. [「AI×タンパク質」がもたらす、次なるブレークスルー【後編】知の ...](#)
6. [Pharma USA 2025 参加【北米市場でのAI活用支援にリーチ ...](#)
7. [製薬16社のデータを連合学習したAI創薬プラットフォーム](#)
8. [産学連携による次世代創薬AI開発\(DAIIA\)（令和6年度終了）](#)
9. [日本の創薬力を再興しよう！2025年、治験・臨床試験はAIで ...](#)
10. [米国「Discovery & Development US 2025」に初出展AI創薬 ...](#)
11. [2025年AI創薬の最前線：薬学研究者と教育者が知るべき技術 ...](#)
12. [数年間かかる創薬・材料開発がたった数カ月に！－NTT Data](#)
13. [【2025年最新】なぜ強い？データで紐解く中国AI研究の最前線 ...](#)
14. [第一三共、AWSと連携しAIエージェント統合型創薬基盤の構築 ...](#)
15. [医薬品開発の最前線2025～欧米スタートアップや現地専門家 ...](#)
16. [「AI創薬」の先をめざせ、生命科学に新展開も](#)
17. [製薬・創薬業界のAI活用事例18選！約45%開発コスト削減 ...](#)
18. [企業の現場課題を一気に解決－AIファクトリー、日本政府重点 ...](#)
19. [米国バイオエコシステムを巡る動向（2025年9月4日No.3696）](#)
20. [AI創薬が“国家戦略”一一米中テック大手が製薬に殺到](#)
21. [製薬業界のAI活用事例17選！創薬・研究の効率化・自動化を ...](#)
22. [2025年における創薬分野でのAI導入の現状－パトコア](#)
23. [中国、がん新薬開発数で世界首位 政府支援でバイオ医薬品に力](#)

- 24. [SB Intuitions の 3 社が生成 AI の活用で臨床開発業務を革新し、...](#)
- 25. [日本の AI 国家戦略「人工知能基本計画」を徹底分析して ...](#)
- 26. [創薬 AI が変える未来！最新技術の仕組みと実用化への道筋](#)
- 27. [LINK-J×AMED 創薬ベンチャーエコシステムの現在地 | イベント](#)
- 28. [FRONTEO、AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory ...](#)
- 29. [2025 年現在の日本医薬業界の実情と展望 – Socractic Inc. Website](#)
- 30. [日本の創薬エコシステムにおけるプロセス開発・製造に至るまで ...](#)
- 31. [製薬業界最大規模で最もパワフルな創薬向け AI ファクトリー ...](#)
- 32. [AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」により抽出 ...](#)
- 33. [創薬ベンチャーに VC が出資し伴走支援 エコシステム強化に ...](#)
- 34. [AI 創薬が医療の未来を変える！？驚きの事例と最新トレンド大 ...](#)
- 35. [AI 創薬が“国家戦略”一一米中テック大手が製薬に殺到](#)
- 36. [〈来期導出計画〉米中で活躍中の産総研発ベンチャー。「AI ...](#)
- 37. [生命設計の国産 AI、日本人やイネも学習 創薬や育種へ国立機関 ...](#)
- 38. [Drug Discovery AI Factory を活用し、創薬シーズのライセンス ...](#)
- 39. [新薬の作り手として、米国が強く意識する中国 – 日経バイオテク](#)
- 40. [2025 年注目の AI 企業 12 社と革新技術まとめ](#)
- 41. [中国は AI 主導の創薬に多額の投資をしている](#)
- 42. [【2025 年最新】日本の生成 AI 企業 18 社！大手からベンチャー ...](#)
- 43. [10 年で創薬大国に変貌した中国 – Answers](#)
- 44. [Meiji Seika ファルマと FRONTEO、Drug Discovery AI Factory ...](#)
- 45. [中国、がん創薬大国に 治験数 2 年連続世界トップ](#)
- 46. [AI 創薬が“国家戦略”一一米中テック大手が製薬に殺到](#)
- 47. [AI 創薬領域の日本・グローバル市場の動向 | VISIONEO LAB](#)
- 48. [2025 年、創薬 AI が爆発する 資金調達ラッシュの深層 – note](#)
- 49. [「AI 創薬」の先をめざせ、生命科学に新展開も – 日本経済新聞](#)
- 50. [日本の創薬力を再興しよう！2025 年、治験・臨床試験は AI で ...](#)
- 51. [米国「Discovery & Development US 2025」に初出展 AI 創薬 ...](#)
- 52. [「AI×タンパク質」がもたらす、次なるブレークスルー【後編】 知の ...](#)
- 53. [製薬 16 社のデータを連合学習した AI 創薬プラットフォーム](#)
- 54. [2025 年における AI 創薬の現状と主要な動向：徹底解説と未来 ...](#)
- 55. [Pharma USA 2025 参加【北米市場での AI 活用支援にリーチ ...](#)

56. [中国、がん新薬開発数で世界首位 政府支援でバイオ医薬品に力](#)
57. [製薬業界の AI 活用事例 17 選！創薬・研究の効率化・自動化を ...](#)
58. [第一三共、AWS と連携し AI エージェント統合型創薬基盤の構築 ...](#)
59. [産学連携による次世代創薬 AI 開発 \(DAIIA\) \(令和 6 年度終了\)](#)
60. [米国バイオエコシステムを巡る動向 \(2025 年 9 月 4 日 No.3696\)](#)
61. [AI 創薬が“国家戦略”一一米中テック大手が製薬に殺到](#)
62. [日本の AI 国家戦略「人工知能基本計画」を徹底分析して ...](#)
63. [2025 年現在の日本医薬業界の実情と展望 – Socrative Inc. Website –](#)
64. [2025 年における創薬分野での AI 導入の現状](#)
65. [2025 年 8 月 AI 創薬の最前線：がん・希少疾患で加速する開発と ...](#)
66. [AI 創薬が“国家戦略”一一米中テック大手が製薬に殺到](#)
67. [2025 年 AI 創薬の最前線：薬学研究者と教育者が知るべき技術 ...](#)
68. [SB Intuitions の 3 社が生成 AI の活用で臨床開発業務を革新し ...](#)
69. [創薬 AI が変える未来！最新技術の仕組みと実用化への道筋](#)
70. [医薬品開発の最前線 2025～欧米スタートアップや現地専門家 ...](#)
71. [AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」により抽出 ...](#)
72. [数年間かかる創薬・材料開発がたった数カ月に！](#)
73. [【2025 年最新】なぜ強い？データで紐解く中国 AI 研究の最 ...](#)
74. [AI 創薬が医療の未来を変える！？驚きの事例と最新トレンド大 ...](#)
75. [製薬業界最大規模で最もパワフルな創薬向け AI ファクトリー ...](#)
76. [FRONTEO と UBE、Drug Discovery AI Factory を活用し](#)
77. [LINK-J×AMED 創薬ベンチャーエコシステムの現在地 | イベント](#)
78. [臨床開発段階のパイプラインは増加中、「創薬に AI を使うべき ...](#)
79. [FRONTEO、AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory ...](#)
80. [Elix と LINC、製薬企業 16 社のデータを連合学習した AI モデルを ...](#)
81. [創薬ベンチャーに VC が出資し伴走支援 エコシステム強化に ...](#)
82. [〈来期導出計画〉米中で活躍中の産総研発ベンチャー。「AI ...](#)
83. [2025 年注目の AI 企業 12 社と革新技術まとめ](#)
84. [中国は AI 主導の創薬に多額の投資をしている | 医薬政策情報](#)
85. [Meiji Seika ファルマと FRONTEO、Drug Discovery AI Factory ...](#)
86. [日本の創薬エコシステムにおけるプロセス開発・製造に至る ...](#)
87. [【2025 年最新】日本の生成 AI 企業 18 社！大手からベンチャー ...](#)

88. [中国製薬、日本でもじわり存在感 | AnswersNews](#)
89. [2158\) の AI 技術を活用した創薬支援サービス「Drug ... - X](#)
90. [製薬・創薬業界の AI 活用事例 18 選！約 45%開発コスト削減の ...](#)
91. [AI 創薬領域の日本・グローバル市場の動向 | VISIONEO LAB](#)
92. [「AI 創薬」の先をめざせ、生命科学に新展開も - 日本経済新聞](#)
93. [製薬 16 社のデータを連合学習した AI 創薬プラットフォーム、Elix と LINC が事業化など | 製薬業界きょうのニュースまとめ読み \(2025 年 7 月 8 日\) | AnswersNews](#)
94. [産学連携による次世代創薬 AI 開発 \(DAIIA\) \(令和 6 年度終了\) | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構](#)
95. [AI 創薬領域の日本・グローバル市場の動向 | VISIONEO LAB](#)
96. [2025 年、創薬 AI が爆発する 資金調達ラッシュの深層 - note](#)
97. [「AI 創薬」の先をめざせ、生命科学に新展開も - 日本経済新聞](#)
98. [2025 年 AI 創薬の最前線：薬学研究者と教育者が知るべき技術 ...](#)
99. [第一三共、AWS と連携し AI エージェント統合型創薬基盤の構築 ...](#)
100. [日本の創薬力を再興しよう！2025 年、治験・臨床試験は AI で ...](#)
101. [製薬業界の AI 活用事例 17 選！創薬・研究の効率化・自動化を ...](#)
102. [SB Intuitions の 3 社が生成 AI の活用で臨床開発業務を革新し ...](#)
103. [産学連携による次世代創薬 AI 開発 \(DAIIA\) \(令和 6 年度終了\)](#)
104. [FRONTEO、AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory ...](#)
105. [製薬業界最大規模で最もパワフルな創薬向け AI ファクトリー ...](#)
106. [米国バイオエコシステムを巡る動向 \(2025 年 9 月 4 日 No.3696\)](#)
107. [AI 創薬が医療の未来を変える！？驚きの事例と最新トレンド大 ...](#)
108. [〈来期導出計画〉米中で活躍中の産総研ベンチャー。「AI ...](#)
109. [医薬品開発の最前線 2025～欧米スタートアップや現地専門家 ...](#)
110. [生命設計の国産 AI、日本人やイネも学習 創薬や育種へ国立機関 ...](#)
111. [Elix と LINC、製薬企業 16 社のデータを連合学習した AI モデルを ...](#)
112. [LINK-J×AMED 創薬ベンチャーエコシステムの現在地 | イベント](#)
113. [2025 年注目の AI 企業 12 社と革新技術まとめ](#)
114. [【2025 年最新】日本の生成 AI 企業 18 社！大手からベンチャー ...](#)
115. [Meiji Seika ファルマと FRONTEO、Drug Discovery AI Factory ...](#)
116. [AI 創薬とは？現状・課題・事例・メリットなどを解説 - 薬読](#)
117. [AI 創薬に必要な人材とは？求められる技術と人材育成について](#)
118. [創薬に AI 活用、治験の期間 3 割短縮も 225 社の市場マップ](#)

119. [AI創薬領域の日本・グローバル市場の動向 | VISIONEO LAB](#)
120. [生成AI活用、DX人材育成...第一三共が進める創薬DXの現在地](#)
121. [AI創薬の最前線：製薬研究者が知っておくべき最新動向と未来 ...](#)
122. [「AI創薬」の先をめざせ、生命科学に新展開も – 日本経済新聞](#)
123. [AIの導入で創薬の高速化が進むライフサイエンス・製薬業界 次 ...](#)
124. [中間年改定、機運高まるも廃止ならず...ロス解消へ規制緩和 ...](#)
125. [AI創薬が医療の未来を変える！？驚きの事例と最新トレンド大 ...](#)
126. [「AI創薬」を加速するJT医薬総合研、その取り組みと人材育成法](#)
127. [医療業界に広がるAI | 製薬業界での活用例と導入のヒントを紹介](#)
128. [AIの活用による創薬の進歩 | 今後への課題や成功事例を紹介](#)
129. [AI創薬とは？ – 産総研](#)
130. [AIを活用した新薬創出 | デジタルトランスフォーメーション](#)
131. [「AI創薬」の未来と課題を解説 – 株式会社 SpinFlow](#)
132. [AI創薬とは？注目される理由やメリット・デメリット、課題](#)
133. [AI創薬とは？医薬品開発におけるAI活用の効果と課題 – Alsmiley](#)